

- アプリ名

「RestaurantSearcher」

- 開発期間

約 2 週間

- 開発環境

Xcode 12.5

Swift 5.4

対象 OS

iOS 14.6

- 機能概要

このアプリはホットペッパーグルメ API を使用し、現在地を取得し、近くの飲食店をマップを使って探せるアプリです。検索ボタンの横の検索結果一覧ボタンを押すと、検索に引っかかった飲食店が一覧できます。

アプリ起動時に自動で近くの飲食店を検索して、表示しています。店舗詳細画面へは、検索一覧画面のセルをタップか、マップのピンをタップすると店舗詳細画面へ画面遷移できます。

- 画面概要

マップ画面：画面起動時に自動で近くの飲食店を検索。ピンを押すと店舗詳細画面へ画面遷移。テキストフィールドにキーワードを入力し、飲食店を検索。検索ボタンの横の検索結果一覧ボタンを押すと検索に引っかかった飲食店を一覧。

検索結果一覧画面：マップ画面で検索に引っかかった飲食店を一覧できる。店舗名、アクセス、営業時間、画像を表示。セルをタップすると、店舗詳細画面へ画面遷移。

店舗詳細画面：店画面では、店舗名、キャッチフレーズ、住所、アクセス、営業時間、駐車場の有無、画像を表示。

- ライブラリ（今回は **Swift Package Manager** でインストールしました。）

Alamofire 5.4.3 (<https://github.com/Alamofire/Alamofire>)

Nuke 10.2.0 (<https://github.com/kean/Nuke>)

- こだわったポイント

こだわったポイントは、使い方です。マップを実装して、飲食店の場所が具体的に分かるようにしました。使い方をシンプルにすることによって、誰でも使えるアプリにできるからです。そし

て、検索結果を最大 30 件にし、たくさんの飲食店検索できるようにしました。

・デザイン面でこだわったポイント

デザイン面は、色と店舗情報のレイアウトです。色はやはり食べ物系はオレンジだと思いオレンジにしました。できるだけ、オレンジを濃くせず、少し淡い感じにすることで違和感をなくせると考えこのような色を採用しました。

店舗情報のレイアウトは、どのようにすれば情報が見やすいか考えた結果、このようなレイアウトになりました。検索結果一覧画面では、画像を丸くすることで少し優しい印象を持てると思い、丸くしました。店舗詳細画面では、戻るボタンの位置に苦戦しました。

・アドバイスして欲しいポイント

アドバイスして欲しいポイントは、UI とマップの機能です。UI に関しては、私が作るとやはりどこか手作り感があるので、もっとおしゃれな UI にしたいです。マップに関しては、マップの機能でもっと実装すべき機能があればアドバイスいただきたいと思っています。

・自己評価

100 点満点中 75 点です。最低実装しなくてはいけない機能や店舗情報は実装できたと思うので 75 点にしました。あとの 25 点は UI とマップの機能です。経路やピンにお店の画像を付けたかったのですが、できなかったのが悔しいです。

・最後に

先日は、御社アプリエンジニア様から、私の自作アプリについてのフィードバックをいただきありがとうございました。とても参考になり勉強になりました。